

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数              |
|--------------------------------|------------------|
| I. 理念に基づく運営                    | <u>11</u>        |
| 1. 理念の共有                       | 2                |
| 2. 地域との支えあい                    | 1                |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3                |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3                |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2                |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | <u>2</u>         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1                |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1                |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | <u>6</u>         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1                |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2                |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1                |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2                |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | <u>11</u>        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9                |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2                |
| <b>合計</b>                      | <b><u>30</u></b> |

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 1290200029          |
| 法人名   | 医療法人 千葉医心会          |
| 事業所名  | グループホームよされ          |
| 訪問調査日 | 平成 20 年 12 月 18 日   |
| 評価確定日 | 平成 21 年 1 月 15 日    |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会 |

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|               |  |
|---------------|--|
| 事業所番号         | 1290200029                                       |
| 法人名           | 医療法人 千葉医心会                                       |
| 事業所名          | グループホーム よされ                                      |
| 所在地<br>(電話番号) | 〒262-0003 千葉市花見川区宇那谷町123-13<br>(電話) 043-298-0430 |

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会        |
| 所在地   | 〒113-0021 東京都文京区本駒込3-15-10 |
| 訪問調査日 | 平成20年12月18日                |
| 評価確定日 | 平成21年1月15日                 |

## 【情報提供票より】(平成20年11月5日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                 |                       |        |
|-------|-----------------|-----------------------|--------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 6 月 1 日 |                       |        |
| ユニット数 | 2 ユニット          | 利用定員数計                | 18 人   |
| 職員数   | 14 人            | 常勤 5 人, 非常勤 9 人, 常勤換算 | 11.0 人 |

### (2) 建物概要

|      |        |             |
|------|--------|-------------|
| 建物形態 | 単独     | 新築          |
| 建物構造 | 鉄骨 造り  |             |
|      | 2 階建ての | 1 階 ~ 2 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |               |                |               |
|---------------------|---------------|----------------|---------------|
| 家賃(平均月額)            | 50,000 円      | その他の経費(月額)     | 水道光熱費16,000 円 |
| 敷 金                 | 無             |                |               |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 300,000 円) | 有りの場合<br>償却の有無 | 有(3年間)        |
| 食材料費                | 朝食            | 200 円          | 昼食 400 円      |
|                     | 夕食            | 400 円          | おやつ 円         |
|                     | または1日当たり 円    |                |               |

### (4) 利用者の概要(11月 5日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名    | 男性   | 5 名  | 女性 | 13 名 |
| 要介護1  | 3 名     | 要介護2 | 6 名  |    |      |
| 要介護3  | 6 名     | 要介護4 | 1 名  |    |      |
| 要介護5  | 2 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 82 歳 | 最低   | 59 歳 | 最高 | 95 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 協力医療機関名 | 千葉ニュータウンクリニック、勝田台病院、古谷内科、勝田台フルヤ歯科 |
|---------|-----------------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

千葉市花見川区北東部の閑静な住宅地区にある鉄筋2階建の、開設して2年余の新しいホームです。このホームのサービスの特徴は、サービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配がほとんどないことです。医療法人を母体とし近郊には歯科を含む協力医療機関が数多くあり、看護師訪問やかかりつけ医の定期訪問もあります。また、認知症高齢者に心から家族と思える介護に専念して立ち上げてきた経緯があり、利用者調査でも職員はやさしく、利用者の生活ペースを大事にして対応してくれていると好評ですが、日中活動については、「生き生きした顔がもっとみたい」との家族の声もあり、更なるサービス向上に向け新たな課題に取り組む事が期待されています。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |  |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「地域とのつきあい」は、運営推進会議を活かした取り組みや、近隣の方々と散歩時に馴染みになったり、園児のホーム来訪等、地域交流は着実に進んでいます。「運営に関する家族等意見の反映」は、家族が面と向かって意見・要望を言いがたい状況であり、引き続き改善努力を要します。また、認知症高齢者の特性から、その安全対策について地域の理解と協力を引き出す更なる活動が望まれます。</p>               |
|       | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>2ユニットの各管理者は、それぞれに自己評価を作成し、相互に課題を共有して改善に取り組もうとしています。</p>  |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>平成18年6月に開設した地域密着型グループホームですが、すでに運営推進会議を開催してサービスの質の向上を図っています。新旧市街の狭間に立地するホームであることから、地域の民生委員のなかには積極的に会議に参加したいと申し出る人もあり、管理者はホームの存在が浸透しつつある事を実感しています。地域に開かれたホームとして外部の方々との連携の場として会議を活用していきたいとしています。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>管理者や職員は家族の訪問時に家族から意見・要望を面会で聞く機会を作っています。また、家族等はホーム以外の外部の人にも意見・苦情を申し立てできることを掲示しています。</p>   |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>車椅子の人も参加してほぼ毎日2ユニット合同で散歩しており、近隣の人との挨拶や声かけもあります。まだ開設して2年余ですが、地域の夏祭りや公民館での敬老会に参加したり、学童を呼んだりして、地域との付き合いが着実に進んでいます。</p>   |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|-----------------------|----|---|--|------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |  |      |   |
| 1. 理念と共有              |    |   |  |      |   |
|                       |    | ○地域密着型サービスとしての理念  |  |      |   |
| 1                     | 1  | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 理念は「明るく家庭的な雰囲気を目指す」とし、起床、就寝時消灯、食事などの時刻はできる限り利用者の自由に任せています。   | ○    | 家庭的な環境のもとでのケアに「地域との交流」の視点を加える事が望まれます。   |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                 | 理念は掲示物で眼につきやすい箇所に掲げ、また職員会議や学習会など集りの都度話し合い、理念の共有化は図られています。  | ○    | 理念の実現に向けた取り組みとして、運営上の活動目標と活動内容を、具体的に計画化(実施項目、担当、予算、達成時期等明示)し、管理していく事が肝要です。                                    |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |  |      |   |
|                       |    | ○地域とのつきあい   |  |      |   |
| 3                     | 5  | 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている        | 車椅子の人も参加してほぼ毎日2ユニット合同で散歩しており、近隣の人との挨拶や声がけもあります。まだ開設して2年余ですが、地域の夏祭りや公民館での敬老会に参加したり、学童を呼んだりしており、地域との付き合いが着実に進んでいます。                  |      |   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |  |      |   |
|                       |    | ○評価の意義の理解と活用  |  |      |   |
| 4                     | 7  | 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる             | 外部評価結果で指摘された問題点・改善点はひとつ、ひとつ全職員で話し合い、改善に努力し、日々の業務等に役立てています。   | ○    | 年1回の自己評価にあたり、全職員が参加してサービスの質を向上することを目指す外部評価の意義を理解し、自己評価項目ごとに活動状況を話し合い評価し、その討議の過程で組織としての気づきを得るような自己評価検討会が望まれます。 |
|                       |    | ○運営推進会議を活かした取り組み  |  |      |   |
| 5                     | 8  | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 新旧市街の狭間に立地するホームであることから、地域の民生委員のなかには積極的に会議に参加したいと申し出る人もあり、管理者はホームの存在が浸透しつつある事を実感しています。地域に開かれたホームとして外部の方々との連携の場として会議を活用していきたいとしています。 |      |   |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市町村担当者とは他県他市で起きた事故事例について報告し話し合っており、事故予防に努めています。介護相談員の訪問は年次毎に持ち回りであり、当ホームにはまだ来訪実績はありません。         |      |   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 開設して2年目からグループホーム新聞を2ヶ月毎に定期的に発行し、個別利用者ごとには訪問面会時に詳しく報告しています。金銭管理に関しては、買い物が必要な場合家族に金額等の事前確認をしています。 |      |   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 管理者や職員は家族の訪問時に直接意見・要望を聞く機会を作っています。また、家族等は事業所以外の外部の人にも意見・苦情を申し立てできることを掲示して知らせています。               | ○    | 家族等は、面会時などでも面と向かっては意見や不満、苦情等言いにくいことを理解して、面会票を活用してのアンケートやホームの独自アンケートで、「家族等の意見・苦情はホームにとって大切な宝である」との姿勢で、家族等の声を運営に反映させる取り組みが期待されます。 |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 担当者交代の場合は利用者のダメージを防ぐため、できるだけベテランで馴染みある職員を代替りの担当にしています。また、歓送迎会を開いて利用者の心を癒すよう努めています。              |      |   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |   |      |   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | ホーム内では毎月担当者を決めて学習会を行っています。法人内外の研修も盛んで積極的に参加しています。管理者研修が法人として設けられています。                           |      |   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 月に2回他のグループホーム管理者との話し合いの場を設けています。  |      |   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 初めは利用者と家族の方にホームに見学に来ていただき、本人が既に入所している利用者や職員と話しをするように努めています。家族には2、3回来ていただき、本人や家族の意向を把握しています。入所後は、徐々に馴染めるように職員が声かけを多くするなどの工夫をしています。       |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 調理の好きな利用者は、食材が新鮮かどうかの管理から下ごしらえまで、率先して行っています。入所前に卸し市場で働いていたので、職員が教わるほどです。また、花の好きな利用者は、職員と共に庭にある花を切り花として、食卓・共有スペース・居室に飾り、潤いのある生活空間としています。 |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 畑仕事が好きな利用者には、職員と一緒に野菜作りを楽しんでいます。コミュニケーションが取りにくい利用者には、身振り・手振りやアイコンタクトにより、同じ言葉でも排泄なのか、お腹がすいたのかの把握に努めています。                                 |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | 本人や家族の意向を反映し、管理者、ケアマネジャー、職員の意見に加え、必要に応じて医師や訪問看護師の意見も反映した介護計画を作成しています。   |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 三ヶ月に一度は、定期的な見直しを行っています。更に、食欲が落ちた場合や元気がない利用者に対して、臨機応変な見直しに努めています。また、日々の申し送りの時に利用者の問題が生じた場合は、ケースカンファレンスを開催し、随時見直しがなされています。                |      |                                  |

| 外部                                     | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|--|----|---|---|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) |    |   |   |      |  |
| 17                                     | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 月二回の訪問診療と、週に一回の訪問看護により、健康面での安心感が有ります。歯科は近隣にあるため、利用者が家族や職員の付き添いのもと、柔軟な支援を受けています。   |      |  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働            |    |   |   |      |  |
| 18                                     | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している             | 協力医療機関があり、訪問診療医から協力病院に情報を伝える連携が取れています。病院に対してこだわりのある利用者には本人と家族の意向を尊重して、家族の付き添いのもと、診療を受けられるよう支援しています。                                     |      |  |
| 19                                     | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 終末期に関しては、家族から「延命に関する同意書」は、いただいています。   | ○    | 協力医療機関があり、医師や看護師との連携が出来ているので、本人や家族とかかりつけ医や職員の間で、もう一歩進めた話し合いが必要と思われます。事業所としての方針を明確にし、本人や家族と方針を共有することが望まれます。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援              |    |   |   |      |  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                        |    |   |   |      |  |
| (1)一人ひとりの尊重                            |    |   |   |      |  |
| 20                                     | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 排泄介助が必要な利用者には、他の利用者に気付かれないように配慮し、トイレのドアは閉め排泄音が聞こえないように気遣いをしています。また、郵便物は本人に直接渡し、家族の承諾なしに個人情報を漏らすことのないように配慮しています。                         |      |  |
| 21                                     | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している           | 昔話を好んでする利用者に対して、職員は傾聴に心がけています。共有スペースでは、利用者同士の会話が弾んでいました。また、一階と二階のユニットを越えての利用者間の交流があり、「ここが最高」という利用者の声がありました。のんびりしたい利用者には、そのペースを大切にしています。 |      |  |

| 外部                            | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|-------------------------------|----|---|---|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |   |   |      |  |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 調理の好きな利用者は、下ごしらえや下膳を職員と共に行っています。食器に関しては、馴染みの茶碗、おわん、お箸、湯飲みを持参していただいています。また、利用者の状況に応じて刻みやペーストにし支援をしています。食事時は、利用者同士の会話が弾んで見ても楽しい光景でした。 |      |  |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 基本的には、三日に一回入浴の支援をしています。午前・午後・夕方と利用者のタイミングに合わせています。声かけをしても気が進まない利用者や体調の悪い方には、利用者の希望を尊重して翌日に延ばしたりしています。                               |      |  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |   |   |      |  |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 掃除の好きな利用者は、居室と共有スペースの掃除を率先して行っています。また、花の手入れが好きな方には庭に植えてある花に水をあげるのを任せたり、将棋の好きな利用者には職員が相手をするなどの生活歴を活かした支援がなされています。                    |      |  |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 歩ける利用者、車いす対応の利用者が雨天や強風の日は除いて、ほぼ毎日、近くに散歩に出かけています。一人で散歩に行く利用者には、名札等を持たせて、安全面に配慮しています。また、月に一度は少し遠出をし、買い物や外食を楽しむ支援が行われています。             |      |  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |   |   |      |  |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 各ユニットの玄関には鍵をかけていません。安全面から共有玄関の自動ドアは、簡単に開かないようになっています。一人で散歩に出かけても戻れる利用者は、職員の了解のもと、自分で自動ロックを外して出かけるなど、利用者本位に対応しています。                  |      |  |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | ホームとしては消防署との関係では、年1回消防計画を作成し、総合消防訓練・部分訓練を各々年2回実施し、防災意識を高め、訓練を重ねています。  | ○    | グループホームの認知症利用者にとって、徘徊などでの無断外出は大変危険であり事故が起きやすいので、身の安全を守るには、地域の理解と協力が不可欠です。このような観点から、災害時だけでなく日常的に地域の人々の協力がえられるよう、運営推進会議等で地域への働きかけが望まれます。 |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 栄養のバランスの取れた美味しい食事に工夫が見られます。食欲が落ちた利用者の体重が減少したので、医師に伝え検査入院をしましたが異常がないのが分かり、その後徐々に回復した例もあります。水分摂取は、朝・昼・夕食後や10時と3時に飲物を出し、水分チェック表に個別に一日の摂取量を記載しています。 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                  |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 浴室やトイレを含め共有空間には季節の花が飾られ、季節毎の行事写真なども掲示して、食堂にもリビングにも生活感・季節感を醸しだし、居心地よく生きていけるよう演出しています。  |      |                                  |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 居室には仏壇、箆箆、机、飾りものなど馴染みの物を持ち込み、花をつんでは部屋に飾ったり、早朝数時間読経したり、利用者は実にさまざまな形でマイペースで自由に暮らしています。家族にも入居時に、日頃愛用している物や習慣化している行動をホームでも継続出来るように、行き届いた説明をしています。   |      |                                  |